

別紙3(第7条関係)

会 議 結 果 の お 知 ら せ

令和5年度第1回宮古市市民交流センター運営協議会を、次のとおり開催しました。

令和6年4月2日

宮古市市民交流センター運営協議会

1 開催日時

令和6年3月25日(月)午後2時30分

2 開催場所

宮古市市民交流センター 1階 会議室1・2

3 議題

- (1) 令和5年度宮古市市民交流センターの利用状況について
- (2) 令和5年度宮古市市民交流センターでの催事について
- (3) その他

4 会議の概要

議題について説明し、質疑応答を行った。詳細は、別紙議事録のとおり。

5 問い合わせ先

宮古市市民交流センター運営協議会

事務局 宮古市市民交流センター（宮古市市民生活部 生活課内）

電 話 0193-63-4166

令和5年度 第3回 宮古市市民交流センター運営協議会 議事録

1. 日 時 令和6年3月 25 日(月)午後2時 30分から午後3時 30分まで
2. 場 所 宮古市市民交流センター 1階 会議室1、2
3. 出席委員 11 名  
昇高茂樹委員長、宮本淳一郎、澤口強、小笠原香織、阿部亮子、坂下勝一、  
坂本智子、谷地孝徳、八木恵理子、早川輝、伊藤エミ子  
(名簿順、敬称略)
4. 事務局等出席者 4 名  
市民生活部 部長 若江 清隆  
生活課 課長 川原 栄司  
市民交流センター 所長 大須賀 健  
市民交流センター 主事 松下 睦美
5. 傍 聴 者 なし
6. 議 題 (1)令和5年度宮古市市民交流センターの利用状況について  
(2)令和5年度宮古市市民交流センターの催事について  
(3)その他

7. 議事録(要旨)

(1)令和5年度宮古市市民交流センターの利用状況について

意見(委員)

利用状況の報告について、対前年度比での増減について分かる資料が欲しい。年度途中だとしても、R3・4年度の数字と比較できるような資料を今後作成してほしい。

回答(事務局)

次回資料作成の参考にさせていただく。

意見(委員)

数字だけの報告にとどまっていると感じる。利用している人の意見や問題点が浮き彫りになっていない。どういう状況なのか市民の声を知らせてほしい。

回答(事務局)

市民から何か特徴的な意見があれば合わせて提示するようにしたいが、現状は行政や公民館利用が多いこともあり、特にそういった意見が上がってきていない。今後何か意見があればお知らせしたい。

意見(委員)

貸室利用だけではなく、展示がどうだったか、ストリートピアノの状況はどうか等、市民の意見の方を大事にしてほしい。

回答(事務局)

今後も市民の声を聞きながら運営していく。

(2)令和5年度宮古市市民交流センターの催事について

意見(委員)

3月3日の市民交流まつりについて案内をいただき、「語り継ぐ3.11」の催事に期待しながら参加した。若い方達でさぞにぎわっているだろうと思い早めに会場に行ったが、実際は人が少なく、もったいないと感じた。内容がよくても、多くの方に聞いていただかなければ残念だと思う。周知はSNSやHP等が主流かもしれないが、アナログでもいいのでもっと分かりやすく伝えてほしい。

チラシについて。作成が大変なことは重々承知しているが、情報が詰め込みすぎて非常に分かりにくい。もう少し拡大する等、見やすくなる工夫をしてほしい。テーマは「防災&ひなまつり」ということだが、このチラシを見る限りぱっとそれが伝わりづらい。また、当日の会場の案内も分かりにくかった。

宮古高校の放送部の朗読もとても上手で、若い人たちがどう考えているのかも知ることができたのはよかった。ただそのあとでDVDも観たりと、長丁場だった。正直なところ、やはり来場者が少なくもったいないと感じた催事だった。

回答(事務局)

今回の催事の反省点としては、ご指摘の通り、詰め込みすぎたところがある。特に「語り継ぐ3.11」に関しては、三部構成で実施したが、そのうちのどれか一つだけをメインにしてもよかったのではないかという意見もあった。小中学校へのチラシを配布等、多方面から様々な周知を図っているが、なかなか集客にはつながっていない状況。当日は毛ガニ祭り等のイベント重なってしまい、図らずも人を取り合う結果になってしまったということもある。いずれにしても、今後も様々な方法で周知に力を入れていきたい。

意見(委員)

市民交流センターには利用団体がたくさんある。公民館まつり、フラットピアまつり等では利用者の協力があるのが普通だが、市民交流センターも利用者に協力してご意見をいただいてはどうか。また、イベントの際は小さい紙でいいからアンケート集計をして声を拾う等、次につなげる仕組みを作ってはどうか。

回答(事務局)

公民館まつり等では、利用団体の協力のもと実施している。市民交流まつりについては自主事業ということで、まず職員中心で企画し、その後協力団体に声をかける、という形で協力をお願いしている。たとえば10月に実施したイベントでは公民館利用団体にお声がけし、ミニコンサートを開催した。アンケートについてはイベント参加者に回答をお願いしているが、「語り継ぐ3.11」では回収率が低く、回答者2名にとどまった。イベント自体の周知もそうだが、アンケートに答えていただくよう改めて声がけを行っていきたい。

意見(委員)

利用する側としては、公民館登録団体ではあるが交流センターで活動しているので、利用団体に働きかけたりPRしたりすることには違和感がない。公民館と交流センターで分けているという意識はないので、あまり遠慮せずに協力の要請をしてもいいのではないかと。

回答(事務局)

こちらとしても、公民館登録団体だからという区別はしていないが、頻度が多くなると応じていただくのも大変かと思い、遠慮している部分はある。そこも含め、今後利用団体と情報共有して相談させていただければと思う。

質疑(委員)

イベントの実行主体について確認。市民交流まつりは職員が中心に進めるイベントなのか。

回答(事務局)

自主事業として企画しているので、イベントの組み立て自体は職員が行っている。

意見(委員)

市民の方々は市民交流まつりが何なのか、開催しているのか知らないのではないか。「こういうことをやっている」という風に導いていかないと、人は来ないのではないかと。昨年の3月市民交流まつりでは、設置したストリートピアノでひなまつりにちなんだ曲を演奏する手伝いをしたが、会場に見に来るとシーンとしていて、市民交流まつりの会場案内もなく、ひっそりとした感じで寂しかった。防災食のパンフレットも机の上に積んであるだけで、これでは皆に防災を訴えられないだろうし、何か工夫が必要なのではないかと感じたことを今思い出した。

回答(事務局)

より来場者を増やすために、皆さんに知っていただく方法を考えていきたい。

意見(委員)

先ほどもで一中の方でひなフェスの反省会をしてきた。子供たちの意見としては、場所を知らせる案内のほか、全体的にPR不足だったという振り返りが挙げられた。大人側としては、日にちの設定をより考えていかななくてはならないのではないかと。毛ガニ祭りを実施したのは他の課だと思うが、情報の共有ができていないのは一番の問題ではないかと。3.11やひなまつりというイベントの時期的な問題で日にち設定が難しいとは思いますが、同じ日だとまずいと事前にわかっているのなら日にちを分けるなどしてもいいのではないかと。

また、今この建物の中では何が起きているのかを表に出せる仕組みを行ってほしい。SNS等で努力はされているが、交流センターの中で何をやっているのか分からない。階段にイベントのポップを設置するなどの工夫を何年も提言しているが、実現されていない。立ち寄った人が何をしているのか分かりやすい仕組みが必要だと思う。

回答(事務局)

6か月前からイベント会場として貸室を押さえる関係で、情報共有をしても動かせなくなることがある。特に、前日から利用を制限して準備日と実施日の両方を押さえる必要があるので、直前には動かしづらい。また、今回は3月3日のひなまつりの日曜日ということでかぶりやすかった。今後はなるべくイベント同士がかぶらないように日程の設定を行っていきたい。

イベントの周知について、館内表示の設置等、様々なご意見をいただいている。今回どの点が不足していたのか、本日いただいた意見をもとに今後検討・実施していくこととしたい。

意見(委員)

市民交流まつりは職員が主体となって行っているということだが、やはり多くの人を巻き込まなければ盛り上がりがないのでは。イベントの運営を通して市民が交流することを考え、みんなで作り上げていくことを考えてはどうか。職員の案だけではなく、実行委員会を立ち上げて市民の自主性を引き出すことを考えてはいかがか。

回答(事務局)

企画検討は職員が中心となって行うが、そこに関わる人を増やして大きな輪にして盛り上げていく、という形で受け止めた。今後はこういうことも配慮して行っていきたい。

(3)その他

質疑(委員)

来年10月の市民交流まっりの3団体合同開催とは、どことどこのことか。

回答(事務局)

交流センター、公共交通推進課、三陸鉄道株式会社の3団体。イベントの詳細については決定次第お知らせし、意見を伺いたい。

質疑(委員)

10月は鉄道の日があるということで「交通」がテーマ。では7月、3月のイベントのねらい・目的は何か。

回答(事務局)

3月は例年通りひなまつりと、交流センター内に防災プラザを擁している部分もあるため、防災の啓発をテーマとする。7月については「夏休み」が一つのテーマではあるが、ここは自由な発想で企画していきたい。

意見(委員)

3月の防災イベントでは、防災に関する団体を集めて話を聞いてみてはどうか。せっかく委員に学ぶ防災の方もいらっしゃるので、実際の説明の状況を再現してもらうなど。防災・減災に関わる団体の意見を募ることも必要ではないか。

回答(事務局)

まだ詳細は決まっていないので、どのようにご協力をいただくかは未定。決まった際にはお声がけしますので、ご協力をお願いしたい。

意見(委員)

イベントをするときは、イベント実行委員のようなものを立ち上げてくだされば、色々アイデアも出しやすい。ぜひ検討していただければ。

回答(事務局)

テーマを絞って開催することには変わらないが、ご協力が際限なく広がっていくことがないよう、「こういうテーマでこういうことをやりたい」ということを明確にしてからお声がけするようにしていきたい。

8.その他

説明(事務局)

事務局より、バーチャルアクアリウムについて情報共有させていただく。後藤康文院長より、水中写真家 鍵井靖章さんが撮影した水中写真を寄贈いただいた。交流プラザ、正面玄関、ふれあい広

場、応接室に展示される。明日 26 日15時よりお披露目会があるので、ご都合の合う方はぜひご参加ください。撤収の期日が定められていないので、しばらくそのままの展示になる。  
最後に、駐車券の無料処理をさせていただくので、必要な方はお声がけください。

以上、閉会。